

科目名 Course Name	国際文化論入門 Cultural Studies			ナンバリング No.	A2-011		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	金井 尊史						
連絡先(質問等)	講義棟 1階講師室(金曜 1130~1430)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP5, DP6						
授業の概要と 到達目標	ヨーロッパにおける共通の価値観の源泉である文化とその根底にある各神話・宗教の基礎的要件を習得できるようにする。 ① 「文化」の定義を明らかにできるようにする。 ② 「文化」形成の根底にある各神話・宗教の基礎的要件を習得できるようにする。 ③ 「文化」の形成過程である中世・近世史の基礎的要件を習得できるようにする。						
授業の方法	毎回配布するレジюмеに基づき、ディスカッション等を取り入れながら講義形式で進行する。						
学習成果	L01	問題の発見と根拠に基づいた論理的な思考で結論を導き出す事ができる。					
	L02						
	L03						
	L04	現代の国際社会で必須の知識・教養であるヨーロッパ文化と中世・近世史の知識を習得し、議論する事ができる。					
課題に対する フィードバック							
教科書/ 参考図書	無し(レジюмеを毎回配布する)						
履修上の留意点 やルール等	課題意識を明確にして受講する事。遅刻、無断欠席厳禁。 事前・事後学習の目安時間:180分						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を常に準備して受講している。 授業に集中してノートを取っている。 不明な点に関し積極的に質問している。	40			
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	穴埋め問題 60 点(2 点×30 問)、記述問題(10 点×4 問)。 穴埋め問題:用語の正確な定義 記述問題:内容に間違いがない、適切な論理構成、正確な日本語文法、まとまった分量。 (記述問題は積極的に部分点を与えるので必ず回答すること。)				60
その他					
合 計		40			60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス
	事前・事後学習	ガイダンスでの説明内容に基づき受講を検討し、決心する。
2	授業内容	文化の枠(1)カルチュラル・スタディーズとは何か
	事前・事後学習	「文化の定義」としてのカルチュラル・スタディーズに関する復習。
3	授業内容	文化の枠(2)記号と解説
	事前・事後学習	授業内で説明した記号の定義・意味と解説の方法論に関する復習
4	授業内容	神話と文化(1)ギリシャ神話
	事前・事後学習	ギリシャ神話の概説に関する予習・復習。
5	授業内容	神話と文化(2)ローマ神話
	事前・事後学習	ローマ神話の概説とギリシャ神話との関係に関する予習・復習。
6	授業内容	宗教と文化(1)ユダヤ教
	事前・事後学習	ユダヤ教の概説に関する予習・復習。
7	授業内容	宗教と文化(2)キリスト教
	事前・事後学習	キリスト教の概説に関する予習・復習。
8	授業内容	宗教と文化(3)イスラム教
	事前・事後学習	イスラム教の概説に関する予習・復習。
9	授業内容	中間試験
	事前・事後学習	中間試験の準備(試験範囲:第2回～第8回)。
10	授業内容	ヨーロッパのあゆみ(1)キリスト教世界の形成
	事前・事後学習	ヨーロッパでキリスト教が人口に膾炙した経緯に関する予習・復習。
11	授業内容	ヨーロッパのあゆみ(2)ヨーロッパ各国の起源
	事前・事後学習	ドイツ・フランス・イタリア各国の前身国家成立の経緯に関する予習・復習。
12	授業内容	ヨーロッパのあゆみ(3)中世の社会-農村と都市-
	事前・事後学習	中世ヨーロッパの農村と都市の生活に関する予習・復習。
13	授業内容	ヨーロッパのあゆみ(4)中世の文化とルネサンス運動
	事前・事後学習	ルネサンス運動の概説と拡大の経緯に関する予習・復習。
14	授業内容	ヨーロッパのあゆみ(5)宗教改革運動と宗派体制の確立
	事前・事後学習	宗教改革運動の概説とキリスト教の宗派体制確立の経緯に関する予習・復習。
15	授業内容	授業内容のまとめ・試験の説明(模擬試験)
	事前・事後学習	模擬試験・本試験の準備(試験範囲:第2回～第14回)。